

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

## 2. 学校 (団体) 受付について

受付は南ゲート入ってすぐ、雨天練習場南側に設ける。

## 3. 競技者の招集について

(1) **現地招集 (スタート地点)** とする。

(2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技(四種競技を含む)	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
フィールド競技(四種競技を含む)	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
( 棒 高 跳 )	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前

(2) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに**現地 (スタート地点)** に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の指示に従う。
- ②2 種目に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、あらかじめ本人が文書 (多種目同時出場届) を競技者係 (雨天練習場北側) に提出すること。用紙は HP からダウンロードして各校 (団体) で準備すること。
- ③招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- ④四種競技出場者の招集については、(2) の①に従って同様の点呼を受ける。
- ⑤競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔TR39.10〕
- ⑥リレーオーダー用紙は、兵庫中体連陸上競技部 HP からダウンロードし、各校(団体)で準備すること。

## 4. TR 5 競技用靴の対応について

本大会は TR5.2 (TR 5 : 競技用靴) と適応する。

## 5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) 時間による最後の 1 枠に同成績がいる場合、写真判定主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とする。空きレーンがあるか、走る場所がある (800m 競走でレーンに複数割り当てる場合を含む) のであれば、同成績者は次のラウンドに進めるようにしなければならない。不可能なら、次ラウンドへの進出者は抽選により決める。〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.2〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5 を適用せず注意にとどめる。
- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは 1 回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。〔TR16.8〕
- (6) 短距離走では、競技者安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (7) 競技者に対する助力については、TR6.2 に気をつけること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (9) 競技者は助走や踏切をしやすいするためにマーカー (主催者が準備したもの、または承認したもの) を、2 個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (10) サークルから行う投てき競技では、マーカーを 1 つだけ使用することができる。〔TR25.3.2〕
- (11) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大 50mm×400mm で他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして 1 カ所自らのレーン内に張ることが許される。〔TR24.4〕
- (12) 選手権リレーのチーム編成は、1・2 年生の出場を認めるが、出走する 4 名のうち 1 名は必ず 3 年生を含むこと。
- (13) リレーオーダー用紙は HP からダウンロードして各校(団体)で準備し、各ラウンドの第 1 組目の招集完了時刻 1 時間前までに、メインスタンド下 1F 中央ホールリレー係に提出すること。  
ただし、新人リレーは、前日の 13 時から提出してもよい。〔TR24.11〕  
※ユニフォームに関しては同系色を着用すること。
- (14) サークルから行う投てき競技では、マーカーを 1 つだけ使用することができる。〔TR25.3.2〕
- (15) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

## 6. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

## 7. フィールド種目の計測ラインについて

フィールド種目において、参加標準記録に達しない場合は計測しない場合がある。  
※計測基準記録は、天候・その他の都合で変更することもある。

## 8. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走 高 跳	男子(新人戦)	1m45	1m50 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m73 以上	3 cm ずつ
	男子(選手権)	1m65	1m70 ~ 1m85	5 cm ずつ	1m88 以上	3 cm ずつ
	女子(新人戦)	1m25	1m30 ~ 1m50	5 cm ずつ	1m53 以上	3 cm ずつ
	女子(選手権)	1m35	1m40 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m58 以上	3 cm ずつ
棒 高 跳	男子(新人戦)	2m00	2m20 ~ 3m20	20 cm ずつ	3m30 以上	10 cm ずつ
	男子(選手権)	2m80	3m00 ・ 3m20		3m30 以上	10 cm ずつ
四 種 競 技 (走高跳)	男子	1m30 1m40	1m35 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m58 以上	3 cm ずつ
	女子	1m15 1m35	1m15 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ

- ①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
- ②ジャンプオフ（第1位決定戦）するためのバーの上げ下げは、走高跳は2 cm、棒高跳は5 cmきざみとする。〔TR26.9.4〕

## 9. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用すること。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。
- (2) 棒高跳用ポール以外は競技場備え付けの器具を使用する。(スターティングブロック・バトン・砲丸・円盤など)

## 10. 競技による入退場について

- (1) 入退場は競技役員の指示に従って行うこと。
- (2) 走り終わった者は雨天練習場を利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。

## 11. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。(別紙参照) また、競技中でもメイン競技場の一部をアップエリアとして開放する。
- (2) 競技場・補助競技場を除く公園内での練習(駅伝試走も含む)は禁止する。
- (3) 各校(団体)でハードルの持ち込みは禁止する。

## 12. リザルト・次ラウンドスタートリストについて

リザルトはすべてWEB掲載と貼り出しを行う。場所は雨天練習場南側とする。また、次ラウンドスタートリストについては同様に掲示する。

## 13. 表彰について

- (1) 新人大会は、男女別学校(団体)対抗とする。
  - ①男子・女子総合優勝校(団体)に、それぞれ賞状・優勝杯を、2位・3位校(団体)に賞状を授与する。
  - ②得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
  - ③各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。
  - ④男女総合優勝校(団体)に神戸大学杯を授与する。
- (2) 選手権大会は、個人表彰のみ行う。
  - ①各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。
  - ②最優秀選手を男女各1名選出し、最優秀選手賞を授与する。

## 14. 競技場使用について

- (1) 本部前の通行は一切禁止する。
- (2) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (3) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (4) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。
- (5) 投てき練習について 補助競技場で、メディシンボールのみ使用可とする。

## 15. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置のみ行う。大会期間中の補償は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。（地域スポーツ団体を除く）
- (2) 大会・規定申し合わせ事項等について競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6：00に明石市に気象警報（波浪以外）が発令された場合、その日の競技は中止とする。  
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。
- (4) 開始式・閉会式を行う。
- (5) 競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。
- (6) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (7) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (8) 事故等防止のためマーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行うが、従わない場合は競技場より退場していただく場合がある。
- (9) 更衣室の利用はできるが、「少人数・短時間」とする。
- (10) 競技を終えた者は、すみやかに帰路につくこと。ただし、地区やチームの引率状況において、待機も可能とする。

### 写真（動画）撮影について

悪質な写真（動画）の盗撮を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

- ①大会運営本部より許可した報道関係者
- ②大会出場校(団体)の顧問、代表者
- ③大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。